

# 脂肪注入豊胸術 説明書

この用紙は治療の目的や内容などについて説明しています。わからぬ事がありましたら何れでもお尋ねください。

## 1 治療の目的 - 胸部軟部の組織の増大を目的とします。

### 2 治療の内容および注意点

(内容)  
脂肪採取部位 (患者の希望による：お腹や太腿など) の皮下脂肪を脂肪吸引術により採取します。採取された皮下脂肪を患者様がご希望される部位へ脂肪注入器を用いて注入し、脂肪採取から注入に要する時間は、胸の場合で約60分です。全身麻酔を使用する場合は担当医の説明があります。術後数日間は局所の腫れが強く、皮下出血も見られる事があります。腫れは通常は2～6週間程度で消え、3ヶ月くらいで安定します。注入した後の腫れ一部は吸収されますので、徐々に大きさは小さくなっていき、3ヶ月くらいで安定します。注入した後の腫れは、術直後は赤く目立つことがありますが、1～6ヶ月くらいで見た目上からなくなっていくきます。

(注意)  
抗凝固剤 (血が固まりにくくなる薬) を常用している場合、手術の2週間前から内服を休止していただく必要が有ります。アレルギギー、服用中のお薬がある場合は必ず担当医に申し出て下さい。

その他、麻酔は執刀医、手術補助医師、麻酔科医師が入室する事があります。授乳中、産後3ヶ月以内の場合には、授乳中、妊娠の可能性が有る方への施行は行っておりません。また、授乳中、産後3ヶ月以内の場合には、使用薬剤などの制限が必要な場合があります。該当する場合は必ず下記にご記入のうえ申告していただく事をお願いいたします。当院では、授乳中、産後3ヶ月以内で安定する場合は必ず下記にご記入のうえ申告していただく事をお願いいたします。

## 3 治療に伴う合併症とその発生率、偶発症発生時の対応

(軽い副作用)  
だるさ、熱感、頭痛、鬱疹、痒み、むくみ、発熱、せき などが生じる事があります。  
(重く副作用) 頻度不明  
冷や汗、胸痛、アテクト、呼吸困難 などが生じる事があります。

●脂肪注入箇所 (胸部) に関して  
(腫れ(腫脹)、皮下出血)  
術後は患部の腫れを生じ、通常術後1週間程度で注入部の腫れは落ちます。また、注入部の内出血により、皮膚が赤く見えることがあります。これは自然に吸収されて2～3週間くらいで正常な皮膚の色に戻ります。

(感染)  
注入した場所に細菌が入り、感染 (膿瘍) となる事があります。この場合、抗生物質の投与、創内部の洗浄などの適切な処置が必要になります。又、脂肪の定着率が下がります。

(神経損傷)  
術中の神経損傷により、局所の知覚麻痺 (皮膚の痺れ感、違和感) を来しますが、多くの場合軽度で術中1ヶ月程度で改善します。ごく稀に(確率1%未満) 不可逆性の神経損傷を生じる可能性があります。

(しこり)  
術後、注入部にしこり (繊維化、石灰化) を触れる事があります。必要と判断した場合にはその部位に薬剤を注射したり、切除したります。また、上記の場合乳癌との鑑別が難しくなる可能性があります。

(乳がん発生率と検診時の注意)  
脂肪を胸に注入しても乳癌は必ずしも発生しません。但し、大きなしこりが長期に残ることは稀ですが、手で触れられない程度の小さなしこりも必ずしも乳癌の診断を難しくさせない場合があります。

●脂肪吸引術に関して  
(血腫)  
術後出血による血腫 (血液の溜まり) ができ、術後は局所の圧迫を行います。腹帯、ストッキング、ドレナールなどを使用する事になります。溜まった血液を外に出すためにドレナールの留置を行います。

(感染)  
皮膚切開部より細菌が入り感染 (膿瘍) となる事があります。この場合、抗生物質の投与、創内部の洗浄など適切な処置が必要になります。

(神経損傷)  
術中の神経損傷により、局所の知覚麻痺 (皮膚の痺れ感、違和感) を来しますが、多くの場合軽度で術中1ヶ月程度で改善します。ごく稀に(確率1%未満) 不可逆性の神経損傷を生じる可能性があります。

●脂肪注入箇所 (胸部) に関して  
(腫れ(腫脹)、皮下出血)  
術後は患部の腫れを生じ、通常術後1週間程度で注入部の腫れは落ちます。また、注入部の内出血により、皮膚が赤く見えることがあります。これは自然に吸収されて2～3週間くらいで正常な皮膚の色に戻ります。

(感染)  
注入した場所に細菌が入り、感染 (膿瘍) となる事があります。必要と判断した場合にはその部位に薬剤を注射したり、切除したります。また、上記の場合乳癌との鑑別が難しくなる可能性があります。

(乳がん発生率と検診時の注意)  
脂肪を胸に注入しても乳癌は必ずしも発生しません。但し、大きなしこりが長期に残ることは稀ですが、手で触れられない程度の小さなしこりも必ずしも乳癌の診断を難しくさせない場合があります。

## (傷跡及び吸引部皮膚)

脂肪を採取する部位及び、注入する部位に小切開を行います。切開部位や個人差により傷跡が目立つ事があります。ごく稀に、傷跡及び吸引部皮膚に色素沈着を起す事があります。

以上の上の治療の経過などはあくまで平均的な説明で個人差があります。また、偶発症として硬膜外麻酔時にDera Punctureの可能性があります。Dera Punctureで起きる症状は主に、体位によって変化する激しい頭痛・吐き気等です。数日でおさまらない場合は、ご来院ください。その他、偶発症が起きた場合には、必要に応じて最善の処置を行います。

## 4 緊急時の対応

術中、術後、出血が多い場合には、お客様の体を第一優先にし、輸血の実施や、手術の中断をする事があります。また、重要臓器 (尿管など) の損傷などの緊急事態を含め適切な対応が必要な場合や、当院での管理が難しく判断した場合は総合病院などに搬送することがあります。手術は後日に延期されます。

残余組織や腫床データ モニターの方の写真や映像等は、研究、教育、学会・論文報告などために大変貴重な材料となります。今後の医療の発展のため、特別な申し出がない限り研究に使用させていただきます。但し、非同意の場合でも診療になんの不利もありません。

## 6 安心保障制度 (保証期間：施術日より1年間)

□コンデンシングチップアブレーション

1、 2カップ以上サイズアップしていない場合は、無料で再手術致します。

□ピュアグラフト豊胸術

1、 明らかに変化がない場合は、無料で再手術致します。

全施術共通

1、 傷跡が気になる場合は、傷跡の修整を無料で致します。

2、 万が一、術後しこりが発生した場合、1年以上も無料で治療致します。

●コンデンシングチップ (対象外期間) (4/27～5/5) お盆 (8/10～8/20) 年末 (12/26～12/31)

(注意事項)  
再手術の決定の際には、診察と施術前後の写真の判定がございします。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

再手術の決定の際には、再手術は施術日より半年以降に行います。

説明日： 年 月 日

説明医師：

上記の医師から、既往歴・薬物に対する特異体質などの問診、本紙に記載された全ての事項、施術・麻酔その他の実施並びに今後の見込みについて説明を受け、その内容を十分に理解しました。

氏名：